

射水市SC (富山県)

「1会員1先生」で会員が交流

射水市SCでは、会員が講師となり、会員に対して技能や知識を伝授する「1会員1先生」を開催している。今回は、洋服を着こなすためのファッション講座を取材した。



令和7年11月19日に射水市SCで行われた「イケオジ?イケジジ?ファッションショー」。たくさんの洋服が飾られた会場では、会員が講師となり参加者に「イケオジ、イケジジ」を目指すためのファッションを指南した

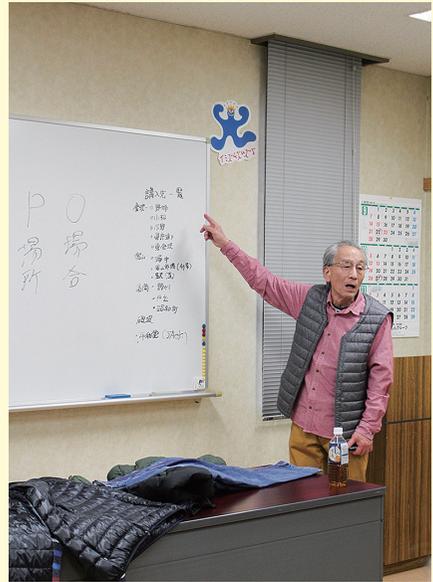
射水市いみずは富山県のほぼ中央に位置する。富山湾で取れる新鮮な魚介類や、コメ、麦、枝豆などの農作物、ホタルが舞う里山など豊かな食と自然に恵まれている。

不定期で開催する「1会員1先生」

公益社団法人射水市シルバー人材センターでは「1会員1先生」を不定期で行っている。「1会員1先生」とは、会員が自分の得意分野を生かし、講師として会員向けに講座や教室を開催するものだ。令和7年11月19日に「イケオジ?イケジジ?ファッションショー」が行われると聞き、取材に行った。会場であるセンター事務所会議室を訪ねると、そこにはシャツやパンツ、上着など、さまざまな洋服がずらりと並んでいた。今回の講師は、センター会員となつて10年以上になるという高岡哲夫さん。定年まで服飾関係の仕事に就き、ジーンズショップの店長を務めて



司会進行役は小林奈津子業務係長。この日の流れを説明するところから始まった



講師の高岡哲夫さん。高岡さんの経歴を知った職員の発案により、この企画が実現した



高岡さんの若かりし頃の写真や、趣味で集めているという映画のパンフレット、雑貨なども展示

展示された数々の洋服は、高岡さんの私物。中には、今では手に入りにくい貴重なものも



いたそうだ。今回は高岡さんのファッションセンスで、集まった会員に向けて洋服に関するアドバイスをを行うという。

前半はファッションの基本について解説

この日、集まった会員は12人。高岡さんが参加者の前で、自分の経歴やファッションに対する思いを語るところからスタートした。

「ファッションには、TPOをわきまえることはもちろん重要ですが、遊び心も大切です。自分の体形や雰囲気に合わせて、どんな色や形の服が似合うのかを知っておくのが大事だと思います。私は、洋服を買う時は、自分の手で触って感覚で選ぶようにしています」と高岡さん。自宅にはパンツだけで100本以上はあるといい、会場に並んでいた洋服も全て高岡さんの私物で、大切なコレクションの一部。今でも服を見に行くのが好きで、時には良い古着を探しに

説明
まずは洋服の種類や形、素材の特徴などから



参加者の顔立ちや雰囲気から似合いそうな洋服を選び、コーディネート。印象ががらりと変わり、会場も大いに盛り上がった

リサイクルショップ巡りをするこ
ともあるそうだ。

高岡さんの話は、服の選び方か
ら近隣のお薦めの店にまで及んだ。
参加者はコレクションの多さに驚
きながら、興味深そうに高岡さん
の話に耳を傾けていた。

後半はコーディネートの 実践アドバイス

講話が終わると、高岡さんは参
加者に、実際にコーディネート
のアドバイスをを行った。普段どん
な服を着ているかを聞きながら、高
岡さんがその人に似合う洋服を私
物の中から選んで、コーディネー
トしていく。

高岡さんは「たくさん接客して
きた経験から、その人の顔や全体
の雰囲気を見れば似合うものを選
べるようになりました」と話す。
ある参加者の顔を見て「赤系の柄
物が似合いますね」と瞬時に判断。
高岡さんが選んだ服を合わせてみ
ると、顔周りがぱっと華やかな印

講座の途中には、地元のラジオ放送局・KNBラジオの収録も。講師の高岡さん、参加者がインタビューを受けた。



どんな服が似合うのか、高岡さんからアドバイスを受ける会員の小井雄三さん(写真左)



高岡さんのアドバイスにより、洋服を着替えた小井さん(写真右)。「ファッションには遊び心も必要だと知りました」と小井さん



象になり、ほかの参加者から「似合う!」と歓声が上がった。

実際にコーディネートしてもらった会員の池原章三さんは、「今まで着たことのないタイプの服を薦めてもらい、楽しかったです。思わず欲しくなりました」と喜んでいました。

ファッションを楽しむと ぼけ予防にもなる!?

最後は、参加者からの質問コーナーを実施。家での洋服の保管方法や、洗濯する際の注意点などについて質問が寄せられた。

高岡さんは、季節ごとにたくさん洋服の入れ替えを行い、衣類の品質表示タグを確認して素材によつて洗濯の仕方まで変えているという。「服の組み合わせを考えたとき、家で洋服の入れ替えをしたり、ファッションを楽しむことは脳の活性化にもつながるかもしれないね」と高岡さん。ファッション好きならではの見解が印象的



参加者の中には女性会員の姿も。洗濯や保管など洋服の扱い方について相談していた

高岡さんから参加者へTシャツのプレゼントがあり、講座の終了後、参加者は好きなTシャツを1枚ずつ選んで持ち帰った



だった。

趣味や特技から広がる 会員同士の交流

「イケオジ?イケジジ?フアッシュンシヨ」を終えた高岡さんは、「人前で話すのが久しぶりだったので緊張しましたが、楽しかったです」と笑顔を見せた。令和6年7月に始まった「1会員1先生」では、これまでも絵手紙教室やあいさつ英会話教室など、いろいろな講習や教室が行われてきた。

小林奈津子業務係長は『「1会員1先生」は、さまざまな経歴や趣味、特技を持つ会員の活躍の場としてはもちろん、会員同士が交流できる機会にもなっています」と話す。

センターでは、今後も「1会員1先生」を通して、就業とは別に、会員がやりがいや楽しみを感じられる場の創出を図っていきたいとしている。

(林真央)